

## はじめに

奈良市は、1300年前、わが国の首都として平城京が開かれ、絢爛たる天平時代を築き日本の古代文化の中心地として栄えた地であります。また、先人たちが、日本民族の文化遺産と自然環境を連綿と守り伝えた努力の結果、今日では、日本国民の「心のふるさと」として親しまれています。

そして、守り伝えられた遺産の内、東大寺、興福寺、春日山原始林等の8資産群が平成10年「古都奈良の文化財」として世界遺産に登録されました。

私たちは、これからもこれらと一体となった豊かな文化遺産と良好な環境を守り、育てるために市民、事業者、観光客等及び市が協力して保全し、将来に引き継いでいかなければなりません。

しかし、今日では、豊かさや快適さを追い求めた結果、私たち一人ひとりの日常生活やそれを支える企業活動によって、地球温暖化を始め大気汚染、水質汚濁等の問題を起こしています。

二十一世紀は、「環境の世紀」と言われますが、今日の環境問題を解決するためには、私たち自身の生活様式を環境にやさしいものに見直す必要があります。

本市では、平成15年度から地球温暖化対策庁内実行計画を作成し、「不必要な照明の消灯等による電気使用量の削減」、「低公害車の導入」、「両面コピー等による用紙使用量の削減」等を実践し本市が排出する温室効果ガスの削減に取り組んでいるところであり、持続的発展が可能な環境にやさしい社会を、本市の自然豊かな環境を活かしながら市民の皆様と共に進めてまいりたいと思います。

本書は、本市の環境の保全と創造に関する施策についてまとめたものです。皆様の環境問題への取り組みや環境保全活動の一助になれば幸いです。

平成18年10月

奈良市長 藤原 昭